

丹波古文書倶楽部会報  
古文書かわら版

第6号

事務連絡(高札場)

☆ 第8回フィールドワーク

日時 12月18日(日)  
午後一時半から午後四時半  
内容(概要)

書垣古文の会による活動  
説明、古文書解説鑑賞の後、  
脇本陣「高座神社」、それ  
ぞれ、現地にて、特徴や歴史財  
産等の解説等をしていただき  
ます。

☆ 一月例会

日時 1月14日(土)

午前十時〜  
会場 柏原住民センター  
会場準備係(敬称略)  
岡田康雄、岡田君代、塩見義則

☆ 新年会(参加申込会員)

日時 1月14日(土)  
午後十一時半〜  
会場 柏原町 和さび  
◎ 駐車場は柏原自治会館、若  
しくは「和さび」

発行者 川口丹波守利和  
編集者 延陽伯こと岸孝明  
発行所 丹波古文書倶楽部

☆ 二月例会

日時 2月11日(土)

午前十時〜  
会場 柏原住民センター  
会場準備係(敬称略)  
芝本満、森田尚典、小島典夫

☆ 生涯学習市民活動実践グル  
プシンポジウム2017

日時 2月11日(土)

午後一時半〜四時半  
会場 柏原住民センター  
内容

開会あいさつ(川口代表)  
講演会(1時40分〜2時40分)  
(兵庫県公民館連合会会長)  
講師: 萬浪 佳隆氏  
休憩 会場模様替え

パネルディスカッション(2時  
50分〜4時20分)  
(途中休憩10分 会場質問)  
コーディネーター 岸孝明  
パネラー5名

連絡閉会(4時20分〜4  
時30分)

参加者 市内居住者、在勤者  
参加料(資料代)一人300円

後援 丹波市丹波市教委  
兵庫県丹波県民局、  
丹波新聞社

F M 8 0 5 たんば

詳細は一月例会で募集チラシ  
配布予定です。

ふるって参加ください、なお  
受付展示業務等のボランティア  
募集中、申込は岸孝明まで

◎ アンケート調査の回答依頼

古文書の学習方法等について  
個人を特定しない形で集約して  
皆さんの参考になるよう、かわ  
ら版に掲載予定です。十一月の  
茶話会に回答して戴いていない  
方も、是非、ご回答ください。

また、自主的研究グループを  
作って共同研究してみたいデー  
マがありましたら記入して回答  
ください。(回答は岸まで)

◎ 三月例会の会場変更

柏原住民センターが確定申告  
の会場となる事が決定済みで  
す。他会場への変更不可避です  
が、現在、場所未定です。

★ 平成29年度古文書倶楽部  
新規会員募集始まる。

1月15日(日)記者発表公表

左記要領にて、募集が開始さ  
れます。お友達知人等で、古文  
書に興味関心を持たれている  
方にお伝えしてあげてください。

・ 申込方法

各住民センター備付けの申込  
書、または電話連絡等(氏名住  
所電話番号)により、当倶楽部  
役員宛お申し込みください。

・ 申込切

平成29年2月15日(水)

・ 対象者

原則として、市内在住、在勤の  
方(年齢制限なし)

・ 募集人数 20名程度

・ 月例会 原則、毎月第2土曜  
日の午前10時〜12時

・ 場所 柏原住民センター

・ 29年度 講座開始日

平成29年4月8日(土)

・ 講師

神戸大学大学院人文学研究  
科特命講師 木村 修二氏  
・ 年会費(予定) 5,000円

・ 申込問合せ先電話番号

080-5355-2301

丹波古文書倶楽部代表 川口利和



自己紹介(口と)

◆ 西脇市黒田庄町

三軒家満成こと芝本 満

古文書への思い

昨年春に新聞に掲載されていた会員募集記事を見て、丹波地域外なのでどうか、と思いつつながら代表の川口さんに電話をすると、入会できるとのお返事をいただき昨年四月から参加させていただきました。

私の古い家がお寺から下三軒目にあつたことから、三軒家満成と自称していましたが、対外的には初めての使用になります。

合併前の黒田庄町役場では、専門職員が不在のため教育委員会の一一般事務職員が文化財担当を兼ねていました。

もともと歴史には興味がありました。また、またま人事異動でその兼務を経験しました。そして、黒田庄町内の歴史愛好家の方たちとも知り合うことができ、黒田庄の歴史を学ぶ会を平成十五年に結成し、以後その事務局として現在に至ります。その当時から黒田庄町史に

掲載されている黒田家系図(黒田集落所有)や黒田官兵衛に興味を持ち、平成十六年に早期退職してからは、姫路市内で開催された黒田家に関する講演会や展示に時々出かけ資料や情報を収集しました。私の目標は、福岡藩黒田家と黒田庄町とのかわりつを文献等により調べ、少しでも明らかにしたいという事です。

私が所属する姫路市のグループの目標の一つであつた黒田官兵衛のNHK大河ドラマ化は、予想より早く平成二十六年に実現し、その前後には新たな関係史料が各地で発見されました。しかし、黒田庄に言及されたものはないに等しい状態です。

近隣(特に丹波地域)に少しでも関係史料が残っていないか、と思いつつも古文書を読めないのでは、前にすすめないと、思い、入会をさせていただきました。しかし、予想以上に解読は難しく予習しても全く読めない文字があり、本当に読めるようになるのかと不安に思つたのです。

古文書が解読できるように

なれば、地元にかかわる古文書(小西池家文書等)や近隣の古文書を少しでも読み進めたいと思つています。

現在、週四日半日だけです。黒田庄地区まちづくり住民会議のあつまつ亭事務局として、西脇市から指定管理を受け、黒田庄交流拠点施設「R黒田庄駅舎」あつまつ亭に勤務しています。

仕事以外では、他に黒田の里「官兵衛まつり」を主催している北播磨黒田官兵衛生誕地の会「黒田庄町」、黒田武士関係の講演や視察研修などをしていく播磨の黒田武士顕彰会(姫路市)に所属しています。

編集後記(金棒引き)

十一月例会に替わつて、茶話会を実施しました。その席上、自分の取り組んでいるテーマに関して、発表して下さる方がおられ、荻野雄一郎会員からは、江戸時代に加古川水運を開削・運営した滝野の大庄屋阿江家は自分の祖先で、小野好古館等に五百点以上の古文書がある、

研究したいと思つているので、一緒に調べませんか、との発言があつた。

岸孝明から、養父市八鹿の池田草庵が開いた青溪書院からは明治期に活躍した門人が多数輩出している。氷上郡の各村から二十余人が塾生として名を連ねている。これらの中には地域の発展に尽くした人がいると思われ、皆で手分けして、どんな人でどんな事をしたのかを共同研究してみようか、と呼び掛けをした。

また、芝本満会員から、自己紹介記事にある「北播磨黒田官兵衛生誕地の会」の話があり、黒田庄には、黒田氏の関係から隠れ切支丹も住んだ形跡がある、などの話が出ました。

是非、黒田庄町へ調査に行きたいと会員3名が芝本会員に案内を頼み、先日、黒田城跡黒田官兵衛の家系図の古文書を見分するため、文書所有者の荘厳寺を訪れ、背中に十字架のあるお地藏さん等も探査しました。会員間で「自主研究グループ」ができて会の活動が活発化すれば嬉しいですね。

文責 延陽伯こと岸孝明